

令和 4年 10月 5日

浜田市議会議長

冠田 卓 様

議員名 牛 尾 昭

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 4年 10月 4日 (火) : ~ :
2. 研修内容  
「ロ-カル・マ-フェスタで東北から日本が変える」
3. 研 修 先  
ロ-カルマ-フェスタ推進連盟
4. 調査経費 5220 円  
(経費内訳 5000 円、 220 円)
5. 調査研究活動の概要  
別紙参照。



「ローカルマニフェストで東北から日本が変わる」

主催：ローカルマニフェスト推進連盟

後援：陸前高田市議会、全国市議会議長会、東北市議会議長会、岩手県市議会議長会、岩手県町村議長会、岩手日報社。

基調講演：北川正恭氏、早稲田大学教授

「マニフェスト20年ローカルマニフェストで地域から日本が変わる」

要旨：事務局と議員の一体化が必要である。議会が地方を変えると、地方が国を変える。

問題提起：江藤俊昭、立正大学教授

「住民自治としての議会」

要旨：気づき、刺激を行動に移す。

- 1、政治の実現—選挙マニフェスト
- 2、二元的代表制—住民を巻き込む—政策競争
- 3、今後の課題—議会の政策サイクル（政策体系）を回す。

地方財政は、決算が大事。議会は討議の空間である。

\*従来の議会を変える—そろそろ、代表質問・一般質問をやめよう—委員会代表質問の導入。大事なものは、議案審査であ

る。－質疑だけで終わってないか。－準備作業が大事で－議員間討議が最も大事である。

修正動議や付帯決議。

善政競争は、当たり前－住民を巻き込む－もっと良い住民自治を進める－TTP（徹底してパクる。）

議会改革の実践

「会津若松市議会における地方議会成熟度評価モデルの取り組み」目黒章三郎氏：市議会議員

「奥州市議会における議会改革の実践」：議長菅原由和  
登壇者によるパネルディスカッション。

議選監査については、川上（可児市）議員は、現在、議選監査であるが、行政がわかっているので必要である。

議員定数については、北川正恭氏は、量的削減はマイナスで改革でも何でもなし。質的充実を図るべき。西脇市議会は、年、45回報告会をやっている。

考察、議会は、住民自治の根幹である。議会の広聴会や報告会のバージョンアップを図り討議する空間をつくるという締めくくりが印象ぶかい。以上、牛尾昭。